

Happy-Hamakan-News (HHN)

浜医看学発 第6巻 第1号

2019年6月号

浜田医療センター附属看護学校

[http://www](http://www.hamakan-nh.jp/)

教育主事・新任教員挨拶・・・1P

スポーツ交流会・・・5P

ナイチンゲール生誕祭・・・8P

学年紹介(3年生)・・・2P

新入生歓迎会・・・6P

学生フォーラム・・・9P

入学式・・・3～4P

オープンスクール春・・・7P

基礎看護学実習 I を終えて・・・10P



67期生 38名

ご入学おめでとうございます！！

独立行政法人国立病院機構
浜田医療センター附属看護学校
〒697-8512 島根県浜田市浅井町 777-12
TEL0855-28-7788
mail : kanri-t@hamakan.nh.jp
<http://www.hamakan-nh.jp/>

発行責任者 石黒眞吾
編集責任者 高下智香子
編集 田儀千代美、畑中美保、崎本美子、岡本諭、
山岡富美香、福嶋洋子、平田洋子、
三家本八千代、尾川ひとみ、岩成美樹、
松野由香、金山和正



～教育主事・新任者挨拶～

令和の幕開け学生の成長を楽しみにしています！

今年に入って3月22日には、第108回看護師国家試験の合格発表があり卒業生64期生が“看護師国家試験 全員合格”という喜ばしいニュースを運んでくれました。4月10日には第67期生の入学式が挙行され、38名の入学が許可されました。元号が令和に変わり、5月からさらに新しい気持ちで今年度のスタートを切りました。

63期生に引き続き2年連続100%合格という結果は、在校生にも大きな影響があると感じます。3年生（65期生）は先輩に続け！とクラス目標を「全員合格」と掲げたようです。また、入学してきたばかりの1年生（67期生）に実施した「本校の受験を決めたきっかけ」についてのアンケート調査では、「国家試験の合格率が高いから」という理由が上位にあがっており、入学前から期待が高いことが伺えました。しかし、本校に入学すれば容易に国家試験の合格が保障されるわけではなく、その背景には学生個々のひたむきな努力と、たくさんの方々の支えがあつての結果であることを忘れてはいけません。在校生には、常に謙虚に学習に向き合い「自己研鑽」を重ねていく力をこの3年間で培ってほしいと思います。

さて、今年度の看護学校の運営目標には「主体的な学習習慣を促進する学習環境の充実・整備」を第1番に掲げています。教材・教具・図書・情報科学室・実習室などのハード面を整備していくことはもちろんですが、学生が主体的に学び、成長できる体制づくりを考えています。一つは学年担任制に加え、1年次からのチューター制の導入です。1年生の声より、専門的な授業内容の多さに戸惑いがあることや、自己学習の仕方が見えていないなどよく耳にします。1年次からの学習習慣の積み重ねが大切になってくることから、担任に限らず相談窓口を教員全体に広げて、学校生活での悩みや不安を相談しやすい環境を作っていきたいとの考えからです。この体制のもと1年次から学生個々が教員と身近に関われることを期待しています。また、教員は学年担任を超えて全学年縦割りで学生と関わることで、全学年の学生を理解することができと考えます。

新たな体制の中で、さまざまなシーンで学生の成長が見られることを今年も楽しみにしながら学校運営をしていきたいと思っています。学生が充実した学校生活を送れるよう、教職員一同努力していきたいと思っておりますので、今年度も引き続き学校運営にご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。



教育主事 高下 智香子

新任教員挨拶

この4月に浜田医療センター附属看護学校に赴任しました岡本諭です。これまで臨床で15年看護師として経験し、主に精神看護に携わってきました。このたび教員として新たな一步を踏み出すこととなりました。新人の教員として、先生方のご助言・ご指導をいただきながら、学生の皆さんとともに、少しずつでも成長していきたいと考えています。出身は広島県です。初めての山陰、浜田での生活、初めての単身赴任ということから、仕事も生活もまだまだ慣れないことが多いですが、日々新たな発見があり、新鮮な気持ち持ちながらがんばりたいと思います。これからよろしくお願い致します。



教員 岡本 諭

～学年紹介 3年生(65期生)～

私たち65期生の今年のクラス目標は「(看護師国家試験) 全員合格!」です。女子34人、男子5人の計39人、明るくとてもにぎやかなメンバーのいるクラスです。

例えば、昨年の学校祭では私たちの学年が中心となり、皆で活発に意見を交わし、当日には約2,000人のたくさんの来場者にお越しいただき、愛にあふれた学校祭を開催することが出来ました。3年生になり、実習の領域も増え多忙な毎日ですが、看護師を目指す仲間同士、悩みを共有し、励ましあって皆で頑張っています。

来年2月の国家試験に向け、本格的に勉強に取り組んでいく時期にもなりました。実習と平行しながらの勉強は大変ですが、クラス目標でもある「全員合格」を目指して、誰ひとりかけることなく、来年の4月には立派な看護師になれるように協力していきたいと思います。



3年生 片岡 美穂子

<母性看護学実習>



明日は沐浴。モデル人形で練習をしています。

<小児看護学実習>



モデル人形で吸引練習をしています。



朝の行動計画発表。教員の指導をもらっています。



全員合格を目指し、日々実習に取り組んでいます。

～67期生入学式～

式辞

第67期生、38名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

浜田医療センターの職員一同は皆様のご入学を心から歓迎いたします。そして、これまで皆さんを支えてこられたご家族の皆様にもお祝いを申し上げます。また、お忙しい中、本日の入学式にご臨席いただきましたご来賓の皆様にも、厚くお礼申し上げます。

浜田医療センター附属看護学校は昭和28年に国立浜田病院附属高等看護学院として黒川町に開設され、平成21年秋に病院とともにこの浅井町に移転しました。当校はこれまでに約2000名以上の卒業生を送りだしてきた伝統ある看護学校です。看護師国家試験において2年連続で全員合格を果たしております。

この5月1日より、新しい天皇が即位され、年号が令和に代わります。まさに新しい時代の幕開けに皆さんは入学されたのであり、このことは皆さんの人生の節目として長く記憶に残ることでしょう。

さて、医療を取り巻く環境は常に変化しております。これまでの「治すだけの医療」から、「治し、生活を支える医療」が求められています。また、この4月1日より働き方改革法案が施行されました。これらの流れは、ますます加速して行く少子高齢化、人口減少という背景があり、それに伴う社会保障制度の疲弊や労働力不足に対応するための国の政策の反映でもあります。

看護の領域においては、医療の質の向上をめざして、専門性の高い看護の知識・技術が評価され、病院内外でチーム医療を牽引する役割が期待されています。働き方改革の観点からすると、医師の職務をタスクシフト、あるいはタスクシェアといった形で看護師や他の職種への権限と実施における委譲が進められています。まさに3年前から始まりました看護師の特定医療行為研修では、今後医療と介護を取り持つ要として期待されています。

皆さんは、沢山ある人生の選択肢のなかから、病める人のために役に立ちたいとの思いがあり、看護の道を選択されたのだと思います。

看護といえば、ナイチンゲールを語らずして看護は語れません。

かのナイチンゲールは看護師について次のように語っています。

『最も幸福な人々、自分の職業を最も愛する人々、自分の人生に最も感謝の念を抱いている人々、それは病人の看護に携わっている人々なのである。』・・・と。

これは看護という職種に限った話ではないかも知れません。ただ、看護に携わるということは単に生活の糧を得る手段として、ではなく、患者との関わりの中で、多くの幸福感が得られる職業であるということでしょう。皆さんが将来、看護を天職として感じられるまで、高めることができたらなんと素晴らしいことでしょうか。

ともあれ、皆さんは看護師を目指してこの3年間はいろいろと学ばねばなりません。学校生活は講義と実習に追われ、時にはつらい思いをされることもあるかもしれません。誰もが少なからず通る道です。その時は家族や友人だけでなく、教官に相談してください。必ず力になってくれます。一方で、感激することも、嬉しいこともいっぱいあります。青春の大切な時であります。今でしかできないことがたくさんあります。スマホゲームやSNSあるいは動画配信に浸るのではなく、友人との語り、本を読み、スポーツを楽しみ、旅行をしたり、あるいはボランティア活動への参加であったりとか。それらを通して自身で考え判断する力を養ってください。「専門ある教養人」として幅広い領域で勉強してください。今後、皆さんがしっかりと学んで、優秀な看護師となられ、一緒に働くことを楽しみにしています。

最後に、皆さんの学校生活が、輝かしく充実したものになることを期待して、式辞といたします。



学校長 石黒 眞吾

平成31年4月10日

新入生代表挨拶

吹く風も柔らかな季節となりました。

先ほどは学校長先生をはじめ、ご来賓の皆様や先輩方からのあたたかいお言葉を頂き、ありがとうございます。本日、浜田医療センター附属看護学校への入学が許可されたことを大変嬉しく思います。

私が看護師を志したきっかけは、家族に接してもらった看護師さんの対応に感動したことです。特に印象深いのは、弟が生まれた際に担当して下さった看護師さんです。弟は健康状態があまり良くなかったので、私たち家族は不安でした。そんな時、担当の看護師さんは、不安な気持ちを傾聴・共感してくださり、やさしい言葉をかけてくれました。

このことから、看護師は患者・家族に安心を与える素晴らしい職業だと感じました。私もその時の看護師のように、患者・家族をよく理解し、心から寄り添える看護師になりたいと考えました。

これから看護を学ぶにあたり、医療の現場を実際に目にして、患者・家族と接する中で、たくさんの知識や技術を習得していきたいです。また、この学校で共に過ごす仲間と学ぶことの素晴らしさや大変さを分かち合い、困難にぶつかったときは、共に助け合って、一人の人間として成長していきます。そして、素敵な看護師になれるように、一日一日を大切にしていきます。

私たち新入生一同は、この浜田医療センター附属看護学校で立派な看護師を目指して努力することをここに誓います。在学中は、病院職員の皆様、先生方、先輩方には、温かいご指導を心よりお願い申し上げます。



1年生 吉丘 歩佳



～スポーツ交流会 2019～

5月7日の午前中に学生・教職員との交流を持つことを目的に、スポーツ交流会を行いました。今年は学校の講堂でドッジボール・クイズリレーを行いました。毎年、学年対抗で行ってきたスポーツ大会ですが、今年は1・2・3年生合同でチームを組んで行いました。ドッジボールでは、チーム一丸となって戦い、攻守共に良い勝負がたくさんありました。講堂内はとても盛り上がっていて全校で楽しみました。クイズリレーでは、問題が難しく苦戦しているチームが多くありましたが、出題者の各グループリーダーがヒントを出したりチーム全員で考えたりと協力して乗り越えており、とても良い時間になりました。

今回のスポーツ交流会を運営していくうえで、会場確保や時間配分についてなど、様々な困難がありましたが、たくさんの人の協力で成功させることが出来たと思います。今回の経験を今後の学校生活や看護に活かしていきたいです。



2年生 杉本 玲菜 佐々木 萌



ドッジボール



クイズリレー

コーヒブレイク（教務室のつばやき）



2年生担任 畑中美保

新学期が始まって3か月となります。今年はゴールデンウィークが異例の10連休で遠出をした方も多くいると思います。6月は祝日の無い月ですが、私は休日には気分転換もかねてドライブをしています。

道路沿いには季節に合わせて樹花が植えられている箇所がたくさんあり、4月は桜や菜の花、5月にはツツジがとてもきれいに咲いていました。6月は梅雨に入り、昼夜の気温差や高湿度のため、気持ちも落ち込みやすく、体調不良となりやすい時期ですが、アジサイの見ごろでもあります。

私の実家の近くにあじさいロードという、地域の方々がお世話をしている場所があります。昨年の豪雨によってあじさいも流れてしまい、現在復旧中ですが、きれいに整備されているアジサイはとてもきれいでした。休日には散歩やドライブをしながら季節の変わり目を楽しんでいきましょう！！

～新入生歓迎会 2019～

1年生が入学してから約1カ月が経った5月7日の午後、新入生歓迎会を行いました。昨年、自分達が素敵な新入生歓迎会を開いていただいたように、今年は私たち2年生が主体となり、企画を考えました。先生方を含めた看護学校全体が、今後の学校生活や学校行事などで支えあい、盛り上げられるように交流を深めました。

午前中に行われたスポーツ交流会でのグループに分かれて、ケーキやお菓子を一緒に食べ、交流を持ちました。その後、ビンゴ大会を行いました。ビンゴ大会では、1年生に事前に数字を書いたカードを引いてもらい、ビンゴで読み上げられた数字と同じ数字のカードを持っている1年生に自己紹介してもらいました。ビンゴ大会をしながら和気あいあいと楽しめ、とても有意義な時間になりました。今回の歓迎会を機に1年生が過ごしやすい学校生活を迎えられたら嬉しいです。



2年生 和田 咲楽 余村 唯



1年生入場



ビンゴ大会

コーヒブレイク (教務室のつぶやき)



教務助手 尾川ひとみ

穏やかな日が続き、陽ざしに夏の到来も感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。7月7日というと真っ先に思い浮かぶのが七夕でしょうか？

ですが！！このころスーパーに並ぶのが、冷やし中華でございます。実は、冷やし中華の日ともいわれているのです！私はその冷やし中華にマヨネーズをトッピングさせるのが大好きです。したことがない方は是非、お試しくださいませ。皆さん！冷やし中華を食べて夏を乗り切ろ～＼(o^)/



pin5.jp - 33286765

～2019年度オープンスクール春～

4月6日に2019年度の第1回目のオープンスクールが開催されました。島根県全域より40名の高校生みなさんに参加していただきました。私はハンドマッサージのコーナーを担当しました。ハンドマッサージをとおして心身のリラクセスを体験すると同時に在校生に聞きたいことを何でも聞いてもらえるような空間にしたいと考えてみなさんをお迎えしました。ハンドマッサージは心身をリラックスさせるだけでなく、触れ合うことによって新しい友達ができることもあります。私も高校3年生の時に浜看のオープンスクールに参加してハンドマッサージがきっかけで友達を見つけることができました。また、浜看の先輩後輩の仲の良さや学校の楽しそうな雰囲気に惹かれてこの学校を選びました。

ハンドマッサージ中は参加者に対して学生がマンツーマンで対応するため、進路を決定する上での悩みや疑問などを聴いたり、学生目線での気軽な相談にのることもできます。高校生だけでなく、保護者の方からの質問を受けることもあります。次回もオープンスクールのハンドマッサージを通して沢山の高校生の方とふれあい、お話ができたらうれしいです。



3年生 田中 優希



＜ハンドマッサージ＞



＜沐浴体験＞



＜聴診体験にて教科書案内＞



＜看護学生と参加者との交流会＞

～ナイチンゲール生誕祭2019～

5月27日にナイチンゲール生誕祭を行いました。長年行っている内容として、午前中は講演会・午後は清掃活動を行いました。講演や清掃活動を行う上で、たくさんの学びがありました。午前に行われた講演では、実際に現場で働いておられる浜田医療センターの看護部長さんをはじめ、看護師・助産師の方のお話を聞いて、患者さんが過ごしやすい環境を整えることの大切さや各分野の看護についてのお話を聞きました。どの方も患者さんのお話を聞き、表情を読み取り、その人に合ったかわりをされていました。

講演を聞いて、改めて自分が目指す看護師像を考えることができました。また、看護師になるまでに基本的な学習を深めていくことをどの指導者さんからもすすめられ、学習の大切さを感じました。

ナイチンゲール生誕祭の午後は校内と、浜田医療センターや偕生園、病院・学校周辺の庭、浜田市のジェンナー碑の清掃を行いました。「環境が人に及ぼす影響について考え清潔の必要性を理解し、またそれがいかに治療に関係するかを考えながら清掃活動に取り組む」ことを意識して清掃活動を行いました。また、ナイチンゲールも述べている「看護とは、新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静かさなどを適切に整え、これらを活かして用いること」に沿って取り組みました。普段清掃する際に、校内の手の行き届かないところや、実習でお世話になっている浜田医療センターの車椅子を磨いたりしました。

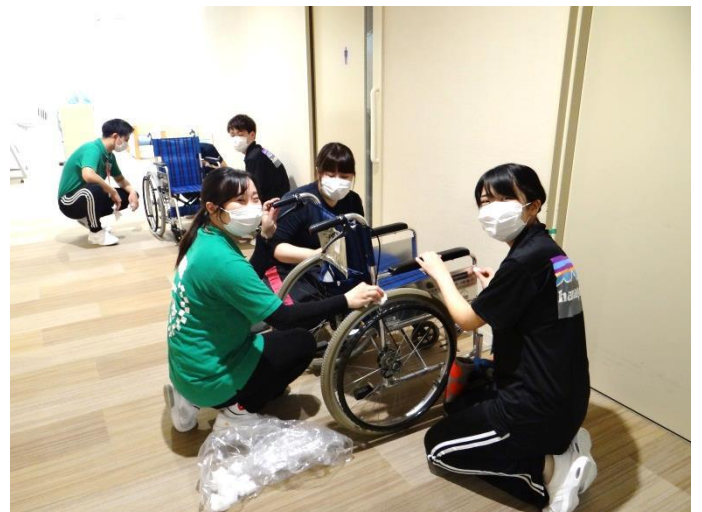
看護をする際に、大切なこととして、まずはじめに環境整備が挙げられているように、環境を整えることで患者さんはリズムのある生活や衛生的にも良い環境で日々を送られ、特に抵抗力の低下した方には重要なことだと改めて考える一日でした。あらためて、環境を整えることも看護師の重要な役割であると思いました。

今回、ナイチンゲール生誕祭の実行委員を行い、慣れないことに苦戦しましたが、コミュニケーションの必要性や協力することの大切さを実践できました。今回学んだことを、今後の生活の中で経験として生かしていきたいと思います。



2年生

二上 穂乃香 勝手 優華 上田 梨乃



～学生フォーラム 66期生(2年生)～

5月17日に岡山県で開催された学生フォーラムに参加しました。私達は国立病院機構中国四国グループの医療センターの方々や附属看護学生が集まる中、浜看の良さを知ってもらうために5分間の発表を行いました。この発表では浜看の特徴の1つである地域交流を通じた看護について伝えるため、クラス全体で協力して取り組みました。5分間という短い時間の中で浜看の良さを沢山伝えられるように1分30秒の動画を作成しました。動画では、浜田の名所であるアクアスやきれいな海、名物である赤天や神楽、また普段の学校での生活の様子を撮影しました。写真や文章だけでは伝えられない様子を詳しく説明できと思います。

私達2人は浜看の行事でリーダーをした経験がなく、皆の意見をまとめたり指示を出したりすることが初めは上手くいかず、スムーズに進めることができなくてとても悩みました。しかし、クラスメイトが協力してくれたおかげで焦っていた気持ちを落ち着かせることができ、本番ではアクシデントもありましたがそれに動じることなく、私たちの発表をやりきることができました。今回の学生フォーラムを通して他校との交流が持て、母体病院やグループ内の病院の特徴や看護を知り、看護師を目指す思いがより一層増し、今後の学校生活への意欲を高めることができました。



2年生

田中 菜唯

舛田 亜美



動画を作成し、学校紹介をしました。



他の附属看護学生から沢山のメッセージを頂きました。



浜田の特徴を取り入れた意見箱を作成しました。



浜看の発表に興味を持って聞いてくださいました。

～基礎看護学実習Ⅰを終えて67期生(1年生)～

5月29・30日に基礎看護学実習Ⅰ(その1)が行われました。67期生にとって初めての实習だったので、不安な学生や意欲的な学生もいました。私の実習病棟では学生7人でしたが、皆で協力し合い、2日間を乗り越えようという意識を持って実習に参加しました。療養環境・生活についてグループで話し合うと、自分では気づかなかったことを仲間が気づいていました。また、患者さんとのコミュニケーションでもアドバイスを基に工夫しながら会話をすることで、多くの学びがありました。

後期には基礎看護学実習Ⅰ(その2)があるので、看護技術を十分に学んで身につけ、充実した臨地実習が送れるよう準備していきます。



1年生 松本 伸



基礎看護学実習Ⅰ(その1)は、初めて病棟に出た実習だったのでとても緊張しましたが、中身の濃いあつという間の2日間でした。患者さんの療養環境を実際に見ると、安全かつ安楽な環境で快適に過ごすことができよう様々な工夫がされていました。一般的に快適だとされる基準値内の照度・騒音、患者さんと話す時の適切な角度・距離が個人によっては不快に感じることもある等、実際の現場で体験しなければわからないことが沢山ありました。また、患者さんのニーズを確認して、個別性のある環境を整える重要性を学びました。



1年生 森田 鈴香

今回の実習では、授業の学びを深めると共に、クラスメイトとの絆も深まったと思います。これからも大変なことが沢山あると思いますが、67期生皆で協力して乗り越え、今回の学びを今後につなげていきたいです。

2019.7.20(土)

浜田医療センター附属看護学校

OPEN SCHOOL

看護師になる!

入学に関するご相談は随時
お受けしています
下記連絡先にご連絡をください

おいでよ
はまかん



■対象 高校生、社会人

13:30~16:30 (受付13:00~13:30)

■内容

- ハンドマッサージ、沐浴、創傷処置、
血圧測定体験 心音の聴診体験
- 模擬授業、看護学生との交流会
- 看護教員による進路相談

※各プログラム内容は都合により変更の可能性があります

申込は電話 0855-28-7788 または
ホームページから
締切 7月19日(金) 17時迄

当日は、上履き用の靴と靴入れ、筆記用具をご持参ください。
また、動きやすい服装(ジャージなど)でご参加ください。

申込連絡先(オープンスクール担当 山岡)

浜田医療センター附属看護学校

電話番号 0855-28-7788

FAX番号 0855-28-7789

<http://www.hamakan-nh.jp/>



所在地: 浜田市浅井町777-12

JR浜田駅前浜田医療センター隣 **無料駐車場有**



お申込み
お待ちしております!

2020年度 入学試験

	願書受付期間	試験日
特別推薦入試(指定校制)	2019年9月20日~2019年9月27日	2019年10月9日
一般推薦・社会人入試	2019年10月21日~2019年10月29日	2019年11月13日
一般入試	2019年12月17日~2020年1月14日	2020年1月23日